



紅葉の里親プロジェクト スタート!

～ふるさと共援活動支援事業(福知山市 大原うぶやの里)～

要 旨

大原地域を美しい紅葉の里にするための取り組みとして、7月4日(日)に大原神社境内で、地元の皆さんが紅葉苗の移植作業を行いました。

大原神社境内に生えた紅葉の実生苗を、地域の皆さんの自宅等で育て、2年後を目処に大きくなった苗木を集落に植えていくこととしています。

また、7月5日には、佛教大学と地元地区でつくる「大原うぶやの里活性化共援組織」のホームページも立ち上がり、地域活性化に向けた様々な取り組みを、地域で自ら情報発信していくこととしています。[ホームページアドレス http://www.ubuyanotosato.jp](http://www.ubuyanotosato.jp)



この日は、共援組織の役員を中心に15人が大原神社に集まり、約1時間、和気あいあいと350鉢のポットに移植作業を行いました。

うぶやの里ホームページでは、地域の景観や伝統文化、地域活性化に向けた取り組み等を紹介しています。

大原地区では、平成21年度から集落と佛教大学文学部が「大原うぶやの里活性化共援組織」を設立し、10年後の集落状況を見据えて地域活性化の取り組みを進めています。



※ 京都府中丹広域振興局では、今後も、ふるさと共援活動支援事業により、過疎・高齢化農村集落と大学、NPO、団体等の外部の協力者で構成する「ふるさと共援組織」による地域活性化の取り組みを支援していきます。